

# 1 . 歌詞カードの訳

英語	日本語訳
<p>Greetings I come from Earth</p> <p>I come from a world of love and hate Where escape was a twist of fate Where death was food for the living Where giving was the gift unheard I come from a world of bridges the divided And where rivers were just streams where chemicals hid I come from a world where skies were stools for pollution And jails were the only solution A world where the contribution is murder And youth is the voice unheard I come from a world of kings and presidents Where no evidence is the truth control Freedom of soul Cold as the days turn old I come from a world no more</p> <p>I come from a world of rich and poor Fat and famished Where children starve as others carve in a Holiday meal I come from a place where toys like guns and knives Are gifts to a child's heart A place where they taught you to believe in Santa Claus But never taught you to believe in yourself I love you self I come from a world of order And disorder Where crossing borders meant shot on sight Where safety was night from a gunman's sight I came to shed light Couldn't we all get along? I come from a world I come from a world no more</p> <p>I come from a world where millions march And sang songs to a different drummer for 200 summers A world of poverty and majority One line for minority and last priority Secret sororities and membership only Where elders die lonely I come from a world where walls were torn While graves were formed Global warming was the warning</p>	<p>やあ、俺は地球からやってきた</p> <p>俺は、愛と嫌悪の世界からやってきた そこは、逃げ口が運命のねじれだった そこは、死が生活のための食べ物だった そこは、与えることが暗黙の贈り物だった 俺は、隔てられた橋の世界からやってきた そして、そこは、川がただ流れていて、 そこには、化学薬品が隠されていた 俺は、空が公害の腰掛だった世界からやってきた</p> <p>また、刑務所は単なる解決策でしかなかった 寄付が殺人者になる世界 そして、若さは聞こえない声である 俺は、君主と大統領の世界からやってきた そこは、証拠が真の支配ではない 精神の自由 日が経つにつれて冷たい 俺は、もうこれ以上ない世界からやってきた</p> <p>俺は、金持ちと貧乏のせかいからやってきた 太ったやつと痩せたやつ そこは、他人が休日の食事を分けるにつれて 子供が餓死する 俺は、おもちゃが銃やナイフのようにになっている 世界からやってきた 子供心への贈り物 そこでは、彼らは君にサンタ・クロースの存在 を信じるよう教えます しかし、絶対に君に自分自身を信じることを教えない 俺は、君を愛します 俺は、秩序と混乱の世界からやってきた</p> <p>そこは境界を越えることが一目で撃つことを意味する そこじゃ、安全はギャングの視界からでる闇である</p> <p>俺は、光を注ぐためにきた 俺たちは、仲良く出来ないのか 俺は、世界からやってきた 俺は、もうこれ以上ない世界からやってきた</p> <p>俺は、何百万の行進の世界からやってきました そして 200 の夏休みのために色々なドラマーに 歌を歌った 貧困と絶対多数の世界 少数と最後の優先の一線 秘密の女子学生クラブや会員のみ そこは、年上の人が孤独に死ぬ</p>

That the last days were near  
But no-one could hear  
In their ignorance  
Only what you wear  
Poisons coloured your hair  
And put holes in the atmosphere  
Ozone layer  
I don't wanna be a player no more  
Where all you worried about was the score  
I come from a world  
I come from a world no more

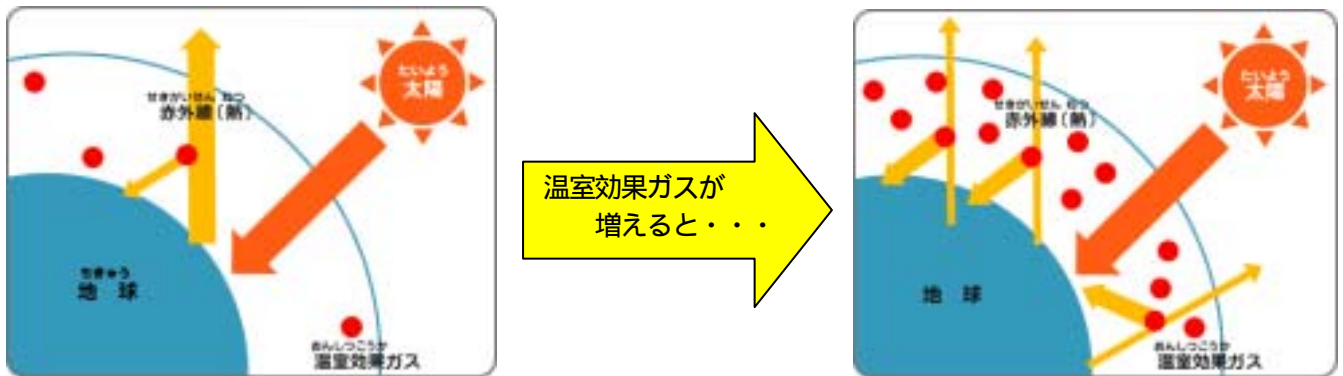
俺は、壁が引き裂かれた世界からやってきた  
お墓が作られたとき  
地球温暖化は警告だった  
最後の日は近い  
しかし、誰1人として聞こえていない  
彼らの無学さの中から  
単に君が着ているものだけ  
毒は、君の髪を染めていた  
そして、大気に穴をあけた  
オゾン層  
俺は、これ以上ないプレイヤーになりたくない  
君たちが心配していることは得点だ  
俺は、世界からやってきた  
俺は、もうこれ以上ない世界からやってきた

# 課題

地球温暖化現象 “Greenhouse effect”

## 内容

地球温暖化とは二酸化炭素やメタン、亜酸化窒素（一酸化二窒素）、フロン等の温室効果ガスが大気中に増えることによって地球の平均気温が上昇する現象です。そのメカニズムは、温室効果ガスには光は通すが暖められた熱はたくわえて逃さない性質があります。この温室効果ガスが大気中に増えると、ちょうど大きな温室の中に地球が閉じ込められたような状態になります。(図1)(図2)



(図1) 地球温暖化のメカニズム



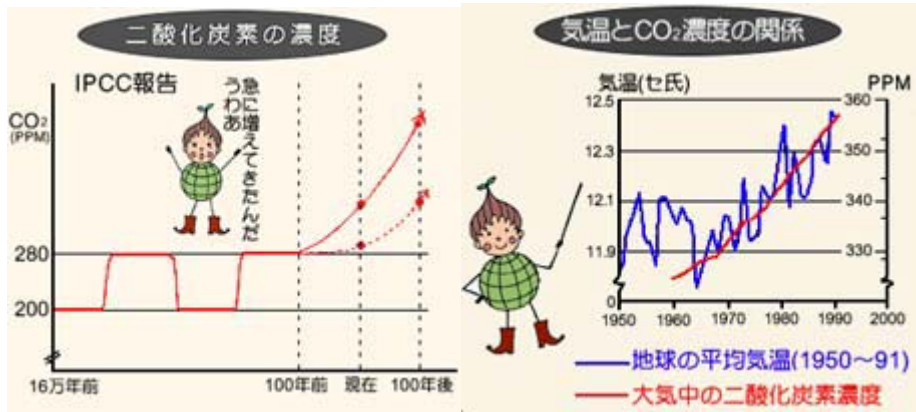
(図2) 地球温暖化の概念

ここで、少し話を戻します。そもそも温室効果ガスはどこから来るのでしょうか。温室効果ガスのうち最も地球を暖かくしているのは二酸化炭素です。二酸化炭素は、石炭や石油といった化石燃料などの物を燃やしたときや生き物の呼吸、自動車、ごみ焼却場などあらゆるところから発生しています。ちなみに、人が出す二酸化炭素の量について、貧しい国の人たちの出す二酸化炭素量は、2～3kg/日。先進国の人が出す二酸化炭素量は、40kg/日。約20倍です。また、先進国をはじめ発展途上国など自動車の使用からガソリン等をつかうようになり、40年間に10倍も増えています。メタンガスは、ウシやヤギなどの動物が呼吸するときや、酸素が少ないところで物が腐ると出てきます。また、田んぼや沼のように底が泥になっていて、その中に有機物質といわれる生き物の枯れや屍骸からも発生します。亜酸化窒素は、ナイロンを作る途中や化石燃料を燃やしたとき生じます。フロンガスでは、人が作り出した気体でエアコンや冷蔵庫で物を冷やしたり、半導体(ICチップ)をきれいにしたりするときにつかわれます。これは、使っているうちにもれることで大気の中に出てきます。

また、地球温暖化減少のその他の原因として森林伐採も大きなものを占めています。

地球温暖化の現状と温室効果ガスの二酸化炭素に関して、それと気温の関係についてです。温室効果ガスが大気圏に存在しなければ、地球の平均気温が冷凍庫並(-18程度)の温度になると計算されています。しかし、産業革命以前は野酸化炭素でさえ、大気中に0.028%という僅かな量しかなく、もっと少ないその他の温室効果ガスをあわせても、大気中に0.03%もなかった温室効果ガスが地球の平均温度を焼く15程度も上昇させています。そして、二酸化炭素と温度の関係についてですが、1980年ごろから世界の各地でこれまでに無かったような高い温度が観測されるようになりました。その原因を調べるために作られた『IPCC』という委員会の報告書によると、それまでの長い歴史のあいだは、

大気中の二酸化炭素の量は安定していました。それから二酸化炭素濃度と地球の気温には比例関係であることが分かりました。(図3)



(図3) 二酸化炭素濃度と気温の関係

今後、地球温暖化が続くと一体どんなことが起こるのでしょうか。それは、海面上昇をはじめ高潮、洪水、干ばつ、生態系への破壊へと続きます。いずれにしろ地球温暖化現象が人に及ぼす影響は多大なものであり、われわれを含めこの世界の動植物の死へとつながります。実際に、各々がどのようなものかについてです。

1. **海面上昇** 地球温暖化が進むと極地やヒマラヤのような高山の氷が溶けてしまい、海面の上昇が起こります。また、海水の温度が上がると、海水自体が膨張するため、更に海面が上昇します。そして、海水が増えると太平洋やインド洋の島が狭くなったり、島自体が水没するといった減少が起こります。日本でも、現在少しずつ海水浴やつりのできる砂浜が徐々に小さくなっています。最大では、88cmの上昇が予測されています。
2. **高潮** 海面上昇すると日本のような山が多い島や大陸では、島や大陸自体がなくなったりはしませんが、海に近いところの町や工場を守るための堤防を越えてしまう高い波が多くなります。そして、台風が来たときだけでなく少し風が強くと吹いているときでも高潮が起きてすんでいる人や工場働いている人のところへ波が押し寄せてくることになります。
3. **洪水** 高山の氷河が溶けると、ふもとの村に溶けた水が流れてきて、村を押し流してしまうような洪水が起こります。そして、日本でも梅雨や台風するとき川から水があふれたり、地下街にみずが流れ込んだりするような大雨が降り、洪水が起こりやすくなります。
4. **干ばつ** 大雨が降るところができるのは反対に、ぜんぜん雨の降らない場所が出てきて農作物が育たなくなったり、飲み水が手に入りにくくなる場所が出てきます。みず不足もそのひとつに当てはなると思います。このような干ばつは今現在、深刻な問題になっている砂漠化への第一歩でもあります。
5. **生態系の破壊** 気温が上がると、高山にすんでいる生き物は、住処をなくしてしまい、死んでしまいます。また、気温が上がるスピードが速いと高山でなくても植物は移動できないため、枯れてしまいます。植物が枯れるとそれを食べる動物も食べ物がなくなるので、あるところに移動しなければなりません。それにより、生き物のすんでいる場所が大きく変わります。いわば、生態系の破壊は、食物連鎖の破壊とも言い換えられるので、植物が枯れるということは、人も含めた大型動物の絶滅へと導かれます。



どうすれば、地球温暖化を防ぐことができるのでしょうか。1つとして、**電車や自転車の利用**です。自転車のよう温室効果ガスを出さない乗り物をつかうようにしたり、電車やバスのように一度にたくさん人を運べる乗り物を使うと

温室効果ガスをあまり出さなくて済みます。たとえば、天気の良い日に家族で買い物に行くときは車ではなくて家族全員でサイクリングしながらいくと健康にも地球にもよいです。また、家族旅行に行くときも、車でいくと家からホテルまでずっと乗っていられて便利だけど、電車でいくと温室効果ガスを減らせます。2 目にごみの分別は、ごみを燃やすと石油などのエネルギーを多く使うので温室効果ガスを多く出します。埋めるときでも、運ぶときにエネルギーを使うので、出来るだけごみが増えないようにすることも大事です。また、ごみが出て、燃えるごみと燃えないごみだけでなく、紙、アルミ缶、スチール缶、ビン、PET などのリサイクルできるものは、分けて出すようにしましょう。また、食べ残しは生ごみになり、そこからメタンが出てきます。さらに、ごみの量も増えるので、給食や家のご飯は出来るだけ食べ残さないようにしましょう。3 目目風力発電です。電気を作るとき、多くが火力発電所で化石燃料を燃やして作っていますが、風力発電や太陽光などの温室効果ガスを出さない方法で電気を作ると温暖化を防ぐことが出来ます。4 目目太陽光発電です。風力発電と同じで、発電をするときに温室効果ガスを出さない発電方法です。最近では、家の屋根に黒い板のようなものがのっているところがありますが、あれが太陽光発電のパネルで、あの黒い板が電気を作っています。その他、電気、ガスや水の使う量を減らしたり、花や木を植えたりすることでも温室効果ガスを減らすことが出来ます。



このように、我々は快適な生活を得るためやおくることで大きなダメージを地球にまた私たち自身に及ぼしています。このような問題は、決して無視の出来るものではなく、私たちの子供へも孫へと半永久的に受け継がれていきます。そのときに、いまのまま受け継いでいいのでしょうか。それは、余りにも無責任だと思われま。少しでもよい状態を受け継いでいくべきだと思います。また、このようなものは1人がどうこうしたらよくなるものでもなく、1人1人の地道な努力により改善します。今、自分が何をすべきかをじっくり考え時間を各自が持つようにすることで大分事情も変わってくると思います。僕自身も今後、子供に対しこのような問題に対し恥ずべきものを少しでも減らすために。また、我々の世代が馬鹿にされ、笑われることの無いように生活面も含め、改善していきたいと思ひます。

最後になりますが、ストップ・ザ・温暖化キャンペーンの HP (ホームページ) 上に『エコシート入力』といったものもありました。そのようなものに記入することで、再度温暖化について考えなおす材料としてください。また、6月5日から地球温暖化を問題とした映画、ローランド・エメリッヒ監督の『THE DAY AFTER TOMORROW』が全国超拡大ロードショーされるので、僕自身も一度見てみたいと思ひ、先生を含め一度見てみてください。

## 参考文献

[http://stop-ondanka.com/my\\_earth/imgaes/ecosheet\\_print.jpg?PHPSESSID=73a587475e037577c1e373bd6f4b9cc6](http://stop-ondanka.com/my_earth/imgaes/ecosheet_print.jpg?PHPSESSID=73a587475e037577c1e373bd6f4b9cc6)

[http://stop-ondanka.com/my\\_earth/download.php?PHPSESSID=73a587475e037577c1e373bd6f4b9cc6](http://stop-ondanka.com/my_earth/download.php?PHPSESSID=73a587475e037577c1e373bd6f4b9cc6)

[http://stop-ondanka.com/campaingn/about\\_campaingn.php?PHPSESSID=73a587475e037577c1e373bd6f4b9cc6](http://stop-ondanka.com/campaingn/about_campaingn.php?PHPSESSID=73a587475e037577c1e373bd6f4b9cc6)

<http://stop-ondanka.com/>

<http://www.ecology.or.jp/earth-k/9904.html>

<http://www.ecology.or.jp/earth-k/9905.html>

<http://www.biwa.ne.jp/~ohmi9/ondanka/kids/01.html>

<http://www.biwa.ne.jp/~ohmi9/ondanka/kids/02.html>

<http://www.biwa.ne.jp/~ohmi9/ondanka/kids/03.html>

<http://www.biwa.ne.jp/~ohmi9/ondanka/02.html>

<http://www.biwa.ne.jp/~ohmi9/ondanka/04.html>

2004 年度版兵藤先生講義プリント

予防と健康管理ブロックテキスト